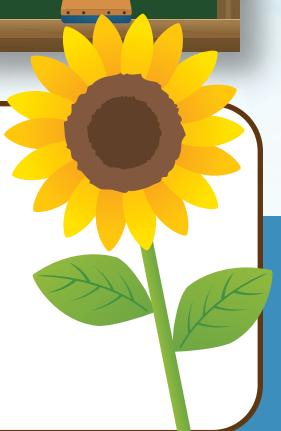




双方向同期型

©JAPAN POST Co., Ltd.
※ぼくまは日本郵便のキャラクターです。

夏のおたよりの書き方



1. 対象学年
 2. 配当時間
 3. ねらい

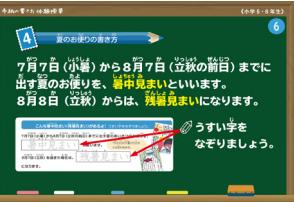
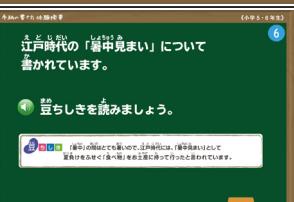
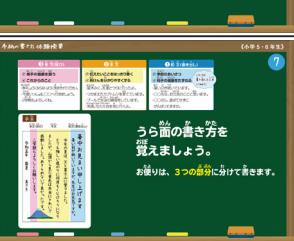
高学年（5・6年生）

1時間 * 実態に応じて実施する。

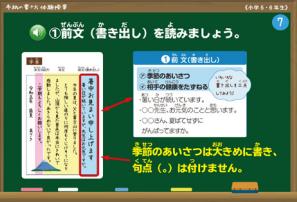
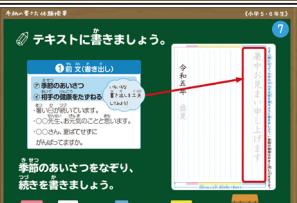
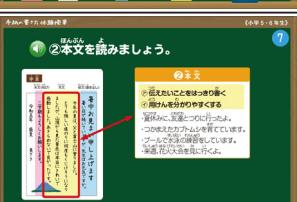
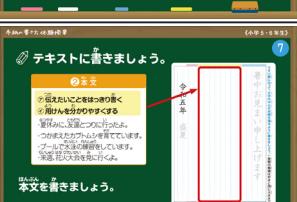
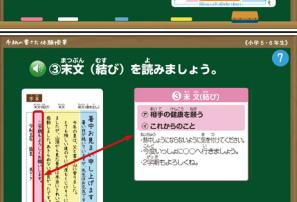
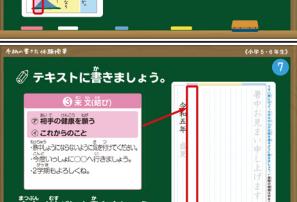
- ①夏のお便りの書き方について知る。
 - ②夏のお便りを書く練習をする。
 - ③実際にはがきに書き、投函する。

手紙の書き方体験授業

※オレンジ文字は双方向同期型の留意点です。

時間 (分)	発問・指示	留意点	画面
0~2	<p>今日はこの「手紙の書き方 小学校5、6年生用」のテキストを使って、学習します。</p> <p>そして、学習した後に、実際に夏のお便りを書いてみます。</p> <p>テキスト、はがき、筆記用具を出しましょう。</p> <p>使うものをたしかめていきます。</p> <p>同じものを先生に見せてください。</p>	<p>Google Meet や Zoom で児童がミーティングに参加していることを確認する。</p> <p>テキスト、はがき、筆記用具を見せる。</p>	
2~5	<p>画面の絵を見ましょう。</p> <p>夏休み、みなさんは何をしたいですか。</p> <p>自然観察、お祭り、名所めぐり…他にもたくさんありますね。</p>	<p>児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。</p> <p>2、3人指名して確認する。</p>	
5~7	<p>色々な夏のお便りが書かれています。</p> <p>どんなお便りを書きたいですか。</p> <p>はがきに書いて、伝えたい人に送りましょう。</p>		
7~9	<p>6ページを開きます。</p> <p>切手の4「夏のお便りの書き方」</p> <p>7月7日、小暑から 8月7日、立秋の前日</p> <p>までに出す夏のお便りを「暑中見舞い」といいます。</p> <p>8月8日の立秋からは「残暑見舞い」になります。</p> <p>うすい字をなぞりましょう。</p>	<p>書けているかどうか、画面で確認する。</p>	
9~10	<p>江戸時代の「暑中見舞い」について書かれています。</p> <p>豆知識を読みましょう。</p> <p>「暑中見舞い」は、お便りではありませんでした。</p>	<p>読んでいるか確認する。</p> <p>ミュートになっていないか確認する。</p>	
10~12	<p>ほかにもいろいろな夏のお便りがありますね。</p> <p>だれにどんなお便りを送っていますか。</p> <p>テキストのはがきを読んでみましょう。</p> <p>QRコードから、ほかの夏のお便りも見ることができます。</p>	<p>各自で読ませても、指名して読ませてもよい。</p> <p>準備し、QRコードからの作品は教師が見せてもよい。</p>	
12~14	<p>あなたはどの絵を書きたいですか。</p> <p>○で囲みましょう。</p> <p>QRコードから、ほかの絵を見ることができるよ。</p>	<p>○で囲んだことを画面で確認する。</p> <p>どの絵を選んだか、発表させてもよい。</p> <p>QRの絵は教師が紹介してもよい。</p>	
14~15	<p>7ページ、「暑中見まいの文章の書き方」</p> <p>はがきのうら面の書き方を覚えましょう。</p> <p>お便りは、3つの部分に分けて書きます。</p>	<p>テキストの場所を画面で確認する。</p>	

手紙の書き方体験授業

時間 (分)	発問・指示	留意点	画面
15~16	①前文（書き出し）を読みましょう。 説明と手本を読みます。 季節のあいさつは大きめに書き、句点（。）は付けません。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
16~18	前文をテキストに書きましょう。 季節のあいさつをなぞり、続きを書きます。	書けているかどうか、画面で確認する。	
18~19	②本文を読みましょう。 説明と手本を読みます。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
19~24	本文をテキストに書きましょう。 手本を参考にして書いてもいいです。	書けているかどうか、画面で確認する。 書けない児童にはアドバイスする。	
24~25	③末文（結び）を読みましょう。 説明と手本を読みます。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
25~27	末文をテキストに書きましょう。	書けているかどうか、画面で確認する。	
27~29	最後に、年号、季節を表す言葉、自分の名前を書きましょう。 年賀状に「元旦」と書くように、 暑中見舞いには「せい夏」、 残暑見舞いには「ばん夏」と書きます。 手本のように、少し下げて書きましょう。 その下に自分の名前を忘れずに書きましょう。	正しく書けているか、画面で確認する。	
29~40	それでは、本物のはがきに夏のお便りを 書いてみましょう。 テキストを見ながら丁寧に書き写しましょう。 空いたところに夏らしい絵を描き添えると 素敵なお便りになりますね。 表面の宛名の書き方は テキストの10ページ、11ページに出ています。 書けたらポストに入れてやり取りを楽しみましょう。	書けない児童には、アドバイスし、書き写しの時間をとる。 書けたかどうか画面上で確認する。 授業の感想を交流させる。	

はがきの表面『あて名の書き方』は「手紙の書き方」授業用コンテンツのページにありますのでそちらをご活用ください。